

Q. 進行性脊髄軟化症と言う病気についてご存じでしたか？

A. 知らなかった

Q. 当院の治療をどのようにして知りましたか？

A. ホームページ

Q. 進行性脊髄軟化症と診断され、当院に来院される前のお気持ちはどのようなものでしたか？

A. この病気について詳しい知識も無く、遠方かつ初診でのお願いだったのですが、とにかく時間との勝負という認識だけはあったのでとても焦っていました。地元を出発した時には愛犬が非常にぐったりした状態だったため、早く治療を受けさせたいという気持ちでいっぱいでした。

Q. 当院での治療を決心され来院する決め手となったものは何でしょうか？

A. インターネットで調べたところ、治療実績があつてしっかり診てもらえると思えた病院が全国で貴院だけだったので、迷うことなくお電話しました。

Q. 担当獣医師の説明や対応はいかがでしたか？

A. とても良かった

お電話で国廣先生へ症状や他院での検査結果をお伝えし、受け入れの調整をしていただきました。沢山質問をしたにも関わらず丁寧に応じていただき、安心して京都へ向かうことができました。入院・手術が立て込んでいる中での急なお願いでしたが、あの時引き受けていただきとても感謝しております。院長の平野先生は症状や手術方法について専門用語をかみ砕いて分かりやすく説明してくださったので、手術にあたり不安な点を一つずつ解消することができました。獣医師としてだけでなく、同じオーナー目線でも話をしてくださり、動物に対して愛情をもって接してくれる先生だと分かったので安心してお任せすることができました。お忙しい中夜遅い時間にかけて緊急で手術していただき、心より感謝しております。

Q. 担当看護師の説明や対応はいかがでしたか？

A. とても良かった

入院中の分からないことや愛犬の状態についても細かく教えていただき、不安を解消することができました。また、看護師長の都さんには退院後慣れるまで色々と相談に乗っていただき非常に心強かったです。本当に感謝しております。また、遠方住まいのためお迎えに行ける日が限られていたのですが、退院日を調整していただけたおかげで自宅での受け入れ準備もしっかり整えることができました。

Q. 手術前の不安な点は何でしたか？

A. 小さい体で長時間の大手術に耐えられるのか、術後しっかり回復できるのか心配ではありました。

Q. 手術後に上記の不安は払拭されましたか？

A. 術後の様子をこまめに教えていただき、且つ面会もできたため、日に日に回復していく様子が分かり安心しました。

Q. 入院生活中はどのような気持ちでお過ごしになりましたか？

A. 寂しがりや・内弁慶な性格でお泊りをしたこともなかったため、どう過ごしているかなと心配でしたが、術後数日で予想以上にスタッフの皆さんに懐いているなど感じたので、家族一同安心しておりました。

Q. 遠方の方で面会できなかつた方はどのように過ごされましたか？

A. 遠方でしたが手術前後は近くに滞在していたため、滞在期間中は面会に伺いました。こちらの仕事の都合で入院期間が予定より少し長くなったのですが、面会に行けなかつた期間も電話でその日の様子を教えていただけたので毎日安心でした。

Q. 退院後の生活のためにどのような準備をされましたか？

A. 教えていただいた介護にあたっての注意点を家族で復習したり、圧迫排尿の動画を見て退院後の予習をしていました。また、冬の寒い時期だったので、冷え対策の毛布なども準備しました。

Q. 退院後の生活で困っていることや工夫はありますか？

A. お困りのこと

車椅子を装着するとお腹が少し圧迫されるようであり長い時間遊ぶことができず、やや運動不足を懸念しております。

A. 工夫したこと

コルセットの後ろをリードで吊るして走らせています。前足の筋肉が落ちないように、毎日運動させていますが、もっと自由に動き回らせてあげたいので、乗りやすいように車椅子を少し調節したいと考えています。

Q. 当院で治療を受けられたことを最終的にどのように感じておられますか？

A. とても満足

貴院で治療を受けられていなかったら、今こうして愛犬と楽しく過ごす毎日はありませんでした。

遠方でしたが、あの時思い切ってお電話して本当に良かったとしみじみ感じております。

ご尽力いただいた院長の平野先生はじめスタッフの皆様には心より御礼申し上げます。

Q. 今後同じ治療を受けられる方にお伝えしたいことはありますか？

A. この病気は時間との勝負で一刻も早い治療が必要です。しかしながら、一般的に治療できない病気として広く認知されており、確定診断もすぐには下してもらえず、時間だけが過ぎてしまうケースも多いのではと思います。もしかかりつけの病院で「疑いあり」と言われたら、すぐに右京動物病院へ連絡をしていただきたいと思います。

Q. このアンケート内容を匿名で公表させていただいても宜しいでしょうか？

A. 大丈夫です。

Q. 最後に何かお伝えしたいことがありましたらご自由にお書きください

A. 早いもので手術からもう一年半ほど経ちますが、おかげ様で大きな体調も無く落ち着いており、日々わがままに元気に過ごしております。手術後はほとんど声が出せないと言われておりましたが、愛犬の場合は術後しばらくすると徐々に声が出るようになり、今では大きな声でしっかり鳴くことができます。以前と変わらずとても賑やかで嬉しい限りです。

こうして毎日一緒に過ごすことができるのも貴院の皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

また定期健診で伺いますので、車いすの件等相談に乗っていただけると幸いです。

今後とも末永く何卒宜しくお願い致します。